

令和7年度第19回ヨコハマeアンケート 横浜市下水道事業に関するアンケート

実施期間 令和7年12月5日（金）から12月15日（月）
事業所管課 下水道河川局 マネジメント推進課

回答者数 999人（回答率：19.9%）
【参考】eアンケートメンバー数 5,027人（12月5日時点）

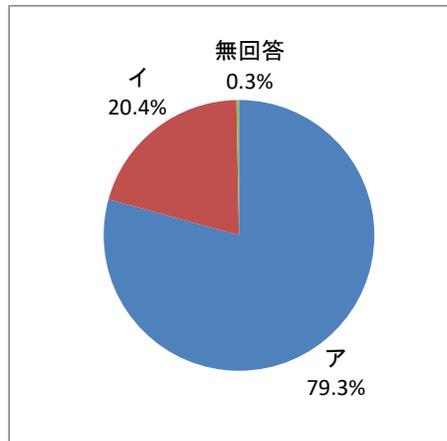
年代別、横浜市内在住・在勤・在学別の回答者構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
横浜市内在住	1 (0.1%)	13 (1.3%)	51 (5.1%)	123 (12.3%)	267 (26.7%)	297 (29.7%)	243 (24.4%)	995 (99.6%)
横浜市内在勤	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	3 (0.3%)
横浜市内在学	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
計	1 (0.1%)	14 (1.4%)	51 (5.1%)	123 (12.3%)	268 (26.8%)	299 (29.9%)	243 (24.4%)	999 (100.0%)

Q1 日常生活の中で下水道を意識することはありますか。 (単一選択)

n = 999

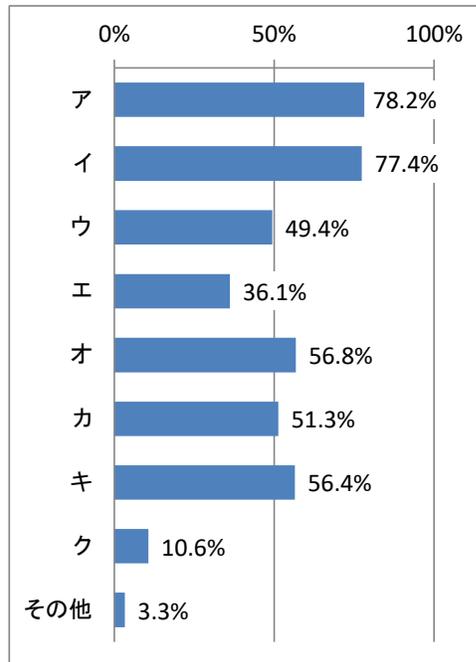
ア ある	79.3%	792
イ ない	20.4%	204
無回答	0.3%	3
	100.0%	999



Q2 Q1で「ア ある」と回答された方にお聞きします。
 どんな時に下水道を意識しますか。あてはまるものを全て選んでください。
 (複数選択可)

n = 792

ア	家庭で水を使ったとき(トイレ・お風呂・台所など)	78.2%	619
イ	大雨や浸水が発生した時またはそのニュースを見た時	77.4%	613
ウ	地震が発生した時またはそのニュースを見た時	49.4%	391
エ	川や海がきれいまたは汚いと感じた時	36.1%	286
オ	下水道の工事現場を見かけた時	56.8%	450
カ	道でマンホールのふたを見た時	51.3%	406
キ	水道料金(水道料金・下水道使用料)の請求書を見た時	56.4%	447
ク	下水道に関する広告(CMや看板広告、ポスターなど)を見た時	10.6%	84
その他		3.3%	26



その他(抜粋)

- ・台所や洗濯機お風呂を使っているとき。(なるべく油はキッチンペーパーで拭いてからお皿洗おうとか、髪の毛詰まらせないようにとか思ってます)
- ・歩いていて、下水のにおいがしたとき。
- ・下水道の事故をニュースで見たとき。
- ・急な雷雨のとき、マンホールから水が吹き出すことがあるからなるべく近くを避けて通る。

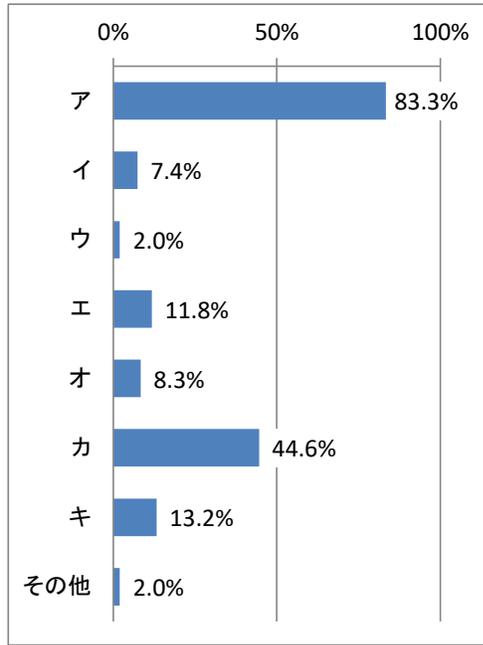
近隣に下水処理場がある。

大雨の時は道路のマンホールの中からゴーゴーと大きな音が聞こえてくる。「下水があふれなければいいのだが」と心配になる。

Q3 Q1で「イ ない」と回答された方にお聞きします。
 下水道についてあまり意識していない理由として、あてはまるものを全て選んでください。
 (複数選択可)

n = 204

ア	普段の生活で困ることがないから	83.3%	170
イ	下水道の役割を実感したことがないから	7.4%	15
ウ	自分の生活と関係がないと思っているから	2.0%	4
エ	市の取組を知らないから	11.8%	24
オ	自分の行動が下水道と関連すると思わないから	8.3%	17
カ	下水道に関する情報に触れる機会がないから	44.6%	91
キ	下水道は専門的で難しいと感じるから	13.2%	27
その他		2.0%	4



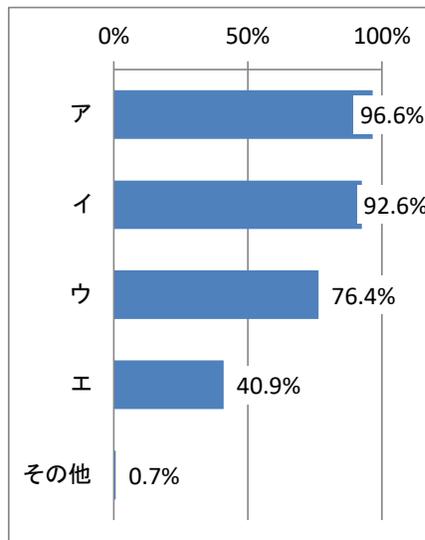
その他(抜粋)

当たり前の設備なので意識はしない。
見えない部分だから。
不自由なく使えているので不満はない。

**Q4 下水道の役割やしぐみについて、あなたが知っているものを全て選んでください。
(複数選択可)**

n = 999

ア	下水道があることで水洗トイレが使用できる	96.6%	965
イ	家庭等で使った水(汚水)は、水再生センター(下水処理場)できれいにしてから川や海に流されている	92.6%	925
ウ	大雨のときに雨水を下水道管で川や海に流し、道路や家が浸水しないよう対策をしている	76.4%	763
エ	下水道管は、雨水と汚水を同じ管で流す「合流式」と別々に流す「分流式」がある	40.9%	409
その他		0.7%	7



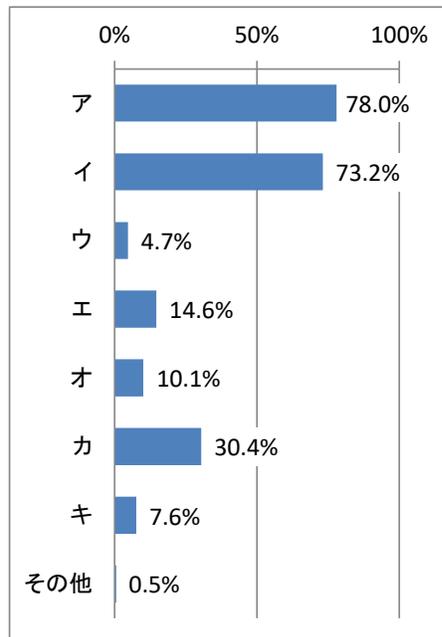
その他(抜粋)

横浜の下水道の長さ。鶴見川の水量について。
北部汚泥資源化センターで下水汚泥から効率的にリンを再生し、そのリンを肥料化している。
下水道の管理・維持に多くの工数が掛かっている。

Q5 横浜市が行っている下水道の浸水対策について、聞いたことがある取組を全て選んでください。
 ※「キ 知っているものはない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 999

ア	大雨が降った時に一時的に水を溜めるための施設があること	78.0%	779
イ	町のどこで水があふれやすいかを地図で知らせていること(ハザードマップ)	73.2%	731
ウ	雨水整備の目標整備水準が1時間あたりの降雨量約52mmと約64mmの2種類があること	4.7%	47
エ	人や施設が集中して浸水被害の影響が大きい横浜駅周辺では、30年に一度の大雨(1時間あたりの降雨量約82mm)にも対応できるように、新しい雨水幹線やポンプ場をつくっていること	14.6%	146
オ	市のウェブサイトで、横浜駅周辺や戸塚駅周辺の下水道管内の水位情報をリアルタイムで発信していること	10.1%	101
カ	公園や公共施設の地面に、雨をしみこませるしくみを取り入れること(グリーンインフラ)	30.4%	304
キ	知っているものはない	7.6%	76
その他		0.5%	5



その他(抜粋)

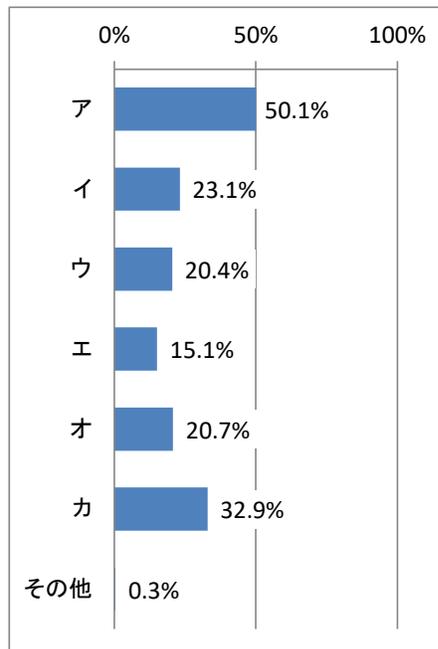
グリーンインフラは近くの公園や小学校でその看板を見て知った。

横浜市の具体的な対策は知らない。他の市町村の出来事やニュースで知るだけなので。

Q6 横浜市が行っている下水道の地震対策について、聞いたことがある取組を全て選んでください。
 ※「キ 知っているものはない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 999

ア	ハマッコトイレ(地震時に使える仮設トイレ)が地域防災拠点にあること	50.1%	500
イ	災害時に必要な物資・教材・要員等を輸送する交通機能を確保するため、緊急輸送路下に布設されている下水道管の耐震化やマンホールの浮上対策を行っていること	23.1%	231
ウ	水再生センターやポンプ場が地震時でも最低限の処理ができるようにしていること	20.4%	204
エ	地震が起きても下水道の業務が止まらないように、職員が訓練していること	15.1%	151
オ	地震時に被災した自治体に対して、他都市が復旧支援を行うルールがあること	20.7%	207
カ	知っているものはない	32.9%	329
その他		0.3%	3



その他(抜粋)

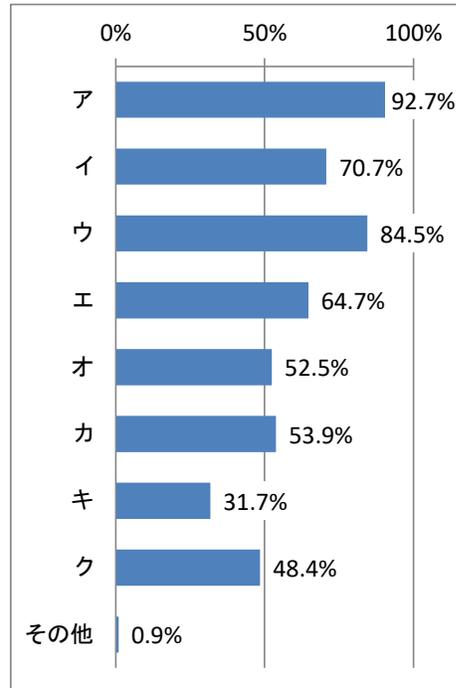
地震対策は不備と考える。職員が被災した時のことは想定しているのだろうか。

被災地への救援活動をしている。

Q7 横浜市では古くなった下水道に対して、様々な対策に取り組んでいます。
あなたが特に大切だと思う取組を全て選んでください。
(複数選択可)

n = 999

ア	下水道管を定期的に点検・調査すること	92.7%	926
イ	古くなった下水道管を補修すること	70.7%	706
ウ	古くなった下水道管を新しくすること	84.5%	844
エ	水再生センターの設備(機械や装置など)を定期的に点検・調査すること	64.7%	646
オ	古くなった水再生センターの設備を補修すること	52.5%	524
カ	古くなった水再生センターの設備を新しくすること	53.9%	538
キ	古くなった水再生センターを新しく作り直すこと	31.7%	317
ク	水再生センターをなるべく長く使えるように補修して使い続けること	48.4%	484
その他		0.9%	9



その他(抜粋)

補修や刷新については、費用対効果や予算状況、補修刷新後の保守費用などを総合的に判断し、長く使える選択をしてほしいです。

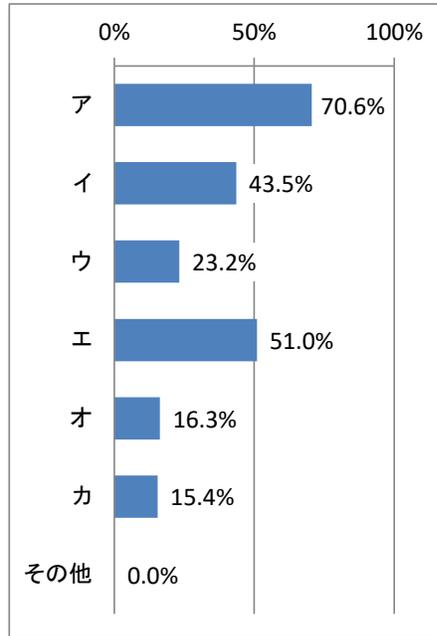
設備の状況・種類・用途により、全てが当てはまると考えます。限られた予算と思いますが、住民の安全を守るため、適切にご判断いただければと思います。

下水道管にしても水再生センターにしても、定期的な点検は当たり前だと思っています。各地で様々な災害に見舞われることが多い昨今、中長期的にみて新しくするタイミングをしっかりと見極めることが重要だと思います。古くなったから直ぐに作り替えるのではなく、とはいえ、まだまだ使えるからと先延ばしにした結果、生活に影響が出ることになったり災害に対応できなかつたりするのは考えものだと思います。

Q8 横浜市の下水道事業では、良好な環境の実現に向けた様々な取組を行っています。あなたが聞いたことがある取組を全て選んでください。
 ※「カ 知っているものはない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 999

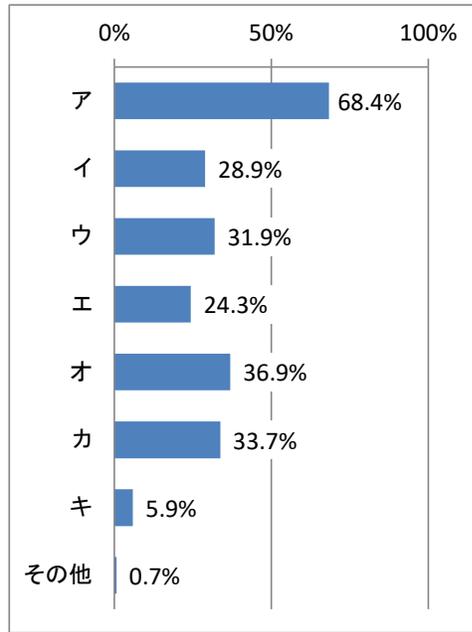
ア	水をよりきれいにしてから川や海に流すしくみ(高度な処理)	70.6%	705
イ	下水処理の過程で出る汚泥(泥状の物質)を、燃料や土づくりに役立てること	43.5%	435
ウ	下水処理の過程で出るガスを、電気などのエネルギーに活用していること	23.2%	232
エ	きれいにした水を、民間施設や市役所などでトイレ用水として再利用していること	51.0%	509
オ	2030年や2050年に向けて、温室効果ガス削減の目標を立てていること	16.3%	163
カ	知っているものはない	15.4%	154
その他		0.0%	0



Q9 横浜市の下水道事業では、横浜の魅力を生かした様々な取組を行っています。あなたがもっと知りたいと思う取組を全て選んでください。
 ※「キ 知りたいものはない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 999

ア	デザインマンホールふた(横浜の風景やキャラクターが描かれたマンホールふた)を設置すること	68.4%	683
イ	マンホールカード(マンホールふたの写真や情報が載ったカード)を配っていること	28.9%	289
ウ	学校や地域のイベントなどで、下水道について学べる講座や展示を行っていること	31.9%	319
エ	海外の都市と協力して、下水道の技術を伝えたり学んだりしていること	24.3%	243
オ	下水処理の過程で出る資源などを使って、新しい農業のやり方を試していること(スマート農業)	36.9%	369
カ	下水から回収したリン「はま巡リン」を原料にした横浜産の肥料「みんなのこえ」をつくり、農業に活用していること	33.7%	337
キ	知りたいものはない	5.9%	59
その他		0.7%	7



その他(抜粋)

家庭でできる下水道に負荷をかけない取組。例えば、油は紙でふき取ってから洗い、下水道に流さないようにする、など。排水管をきれいに保つ方法、など。

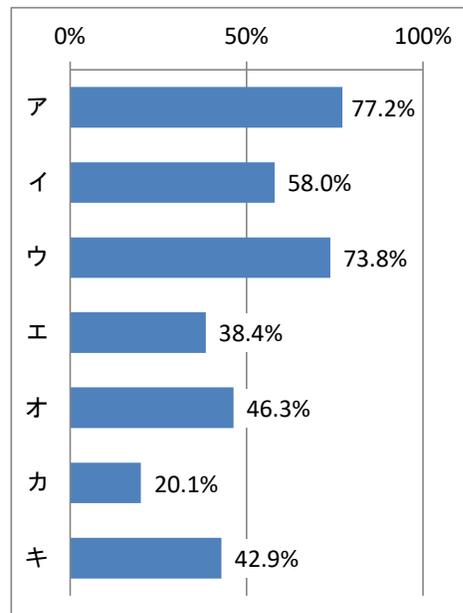
横浜の下水道事業によって、横浜の川や海への影響をどれだけ抑えられているか、抑えられていないか。

農業に限らず可能性があるように思います。

Q10 今後、もっと力を入れてほしいと思う下水道の取組を全て選んでください。
(複数選択可)

n = 999

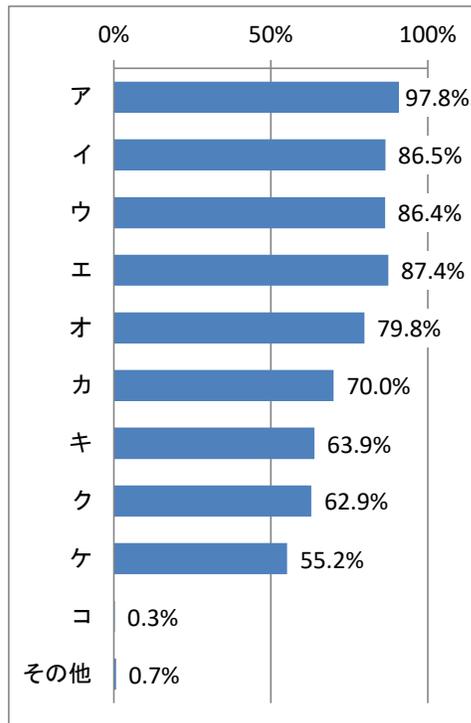
ア	下水道の施設をこまめに点検・修理して、古くなったところを直すこと	77.2%	771
イ	大雨で水があふれないように、下水道管やポンプ場を整備したり、危険な場所を地図で知らせること	58.0%	579
ウ	地震が起きても下水道が使えるように、施設を強化すること	73.8%	737
エ	地球温暖化を防ぐために、下水処理の過程で出る資源を使って電気をつくったり、使用するエネルギーを削減すること	38.4%	384
オ	川や海に流す水をもっときれいにして、自然環境を守ること	46.3%	463
カ	海外の水問題を支援したり、横浜の企業が国内や海外で水に関する仕事を広げるのを応援すること	20.1%	201
キ	下水道の新しい技術を開発するために、民間企業と協力して調査や研究を行うこと	42.9%	429



Q11 もし下水道が使えなくなったら、あなたの生活で困ると思うことを全て選んでください。
 ※「コ よく分からない」を選択した方は、他の回答を選択しないでください。
 (複数選択可)

n = 999

ア	トイレが使えず、排泄の処理に困ること	97.8%	977
イ	お風呂やシャワーが使えず、体を清潔に保てないこと	86.5%	864
ウ	台所の排水ができず、料理や食器洗いができないこと	86.4%	863
エ	公衆衛生が悪化し、感染症が心配になること	87.4%	873
オ	悪臭や害虫が発生し、街が汚くなること	79.8%	797
カ	大雨のたびに道路や家の周りが冠水し、移動や生活に支障が出ること	70.0%	699
キ	川や海が汚れて、生き物や環境に悪影響が出ること	63.9%	638
ク	災害時に避難所や近隣でトイレが混雑し、プライバシーが守れないこと	62.9%	628
ケ	交通や経済など、都市の暮らしに影響が出ること	55.2%	551
コ	よく分からない	0.3%	3
その他		0.7%	7



その他(抜粋)

自宅トイレで内水氾濫がおきて、自宅で寝泊まりできなくなって、どこかに避難しなければならないこと。その復旧や片付けにどれだけの時間と労力がかかるのか分からない。

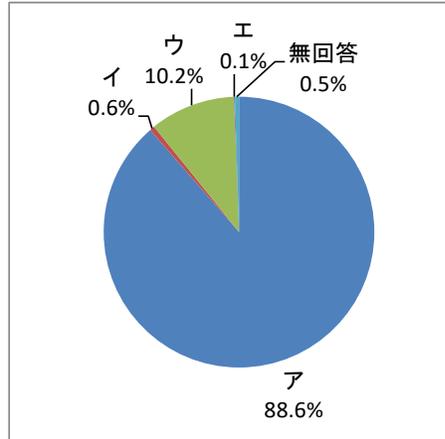
終戦後の頃、田舎の方や、瓦礫になった都会では、そもそも下水道がないか使えなかった。でも、何とか生活はしていた。今後、巨大地震による巨大災害時や戦争時には、おそらく下水道は使えなくなってしまう。その時、どう生き残るのか、どういう工夫をしていくのかの講習が必要ではないか。最近、そんなことをしばしば思う。

とにかく日常生活が成り立たなくなる。都市生活、経済活動など地域生活への影響がすごく大きいこと。

Q12 下水道施設の老朽化が進んでいることについて、あなたの認識に近いものを1つ選んでください。
(単一選択)

n = 999

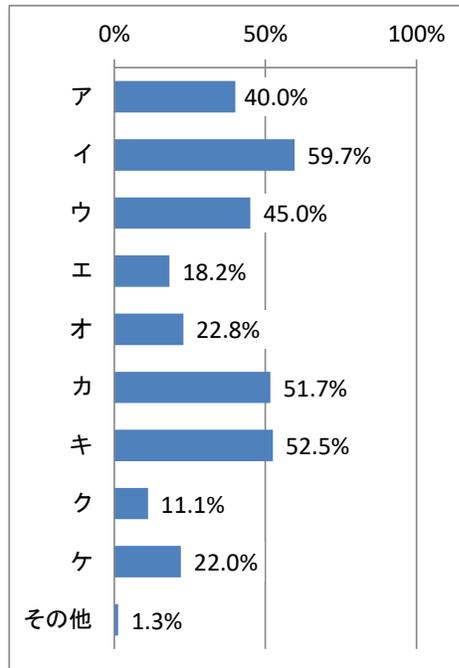
ア	知っていて、必要な対策だと思う	88.6%	885
イ	知っているが、特に対策は必要ないと思う	0.6%	6
ウ	知らなかったが、必要な対策だと思う	10.2%	102
エ	知らなかったし、特に対策は必要ないと思う	0.1%	1
無回答		0.5%	5
		100.0%	999



**Q13 下水道に関連する情報について、あなたが知りたいと思うものを全て選んでください。
(複数選択可)**

n = 999

ア	下水処理のしくみや下水道の役割	40.0%	400
イ	浸水対策や地震対策の取組と効果	59.7%	596
ウ	下水道使用料(下水道料金)の内訳と使い道	45.0%	450
エ	下水道に関するイベントや環境教育に関する情報	18.2%	182
オ	下水道に携わる人の具体的な仕事内容	22.8%	228
カ	自宅周辺の下水道工事の時期や内容	51.7%	516
キ	家庭でできる取組	52.5%	524
ク	下水道の歴史	11.1%	111
ケ	横浜市下水道事業中期経営計画や経営方針	22.0%	220
その他		1.3%	13



その他(抜粋)

定期的の点検、補修に相当のエネルギーが必要であること。それなりの費用がかかりその費用を市民で分かち合うこと。

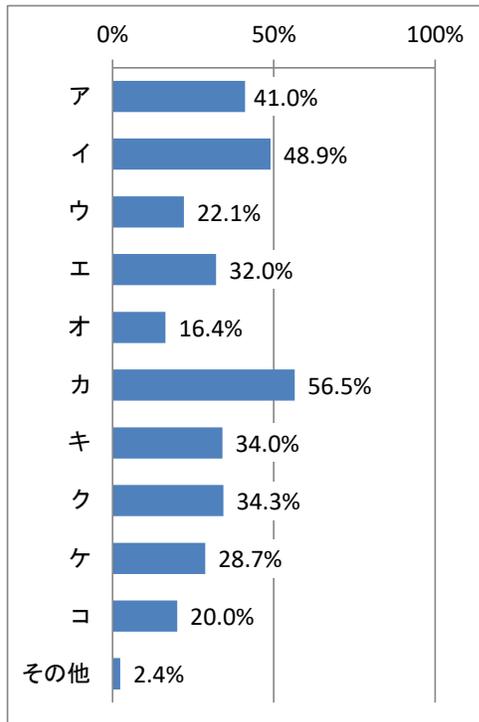
下水道の状態。どこの下水道がいつ敷設されたか。

いずれ地震などの大災害があった時、下水道管路の多くは使用できなくなるのは確実です。下水道が全く使えないとき、市民はどのような対応策を取るべきか、専門家から市民に教示しておいてもらいたい。トイレの排水を街中にまき散らす事態は避けたい。

**Q14 下水道の広報・イベントについて、あなたが魅力的だと思うものを全て選んでください。
(複数選択可)**

n = 999

ア	子どもにも分かりやすく下水道を説明した漫画	41.0%	410
イ	下水道についてわかりやすく説明した動画	48.9%	489
ウ	下水道の専門的な内容が記載された情報誌	22.1%	221
エ	最新の下水道情報について定期的に発信するSNS	32.0%	320
オ	下水道のしくみなどを説明する出前講座	16.4%	164
カ	水再生センターの施設見学会	56.5%	564
キ	下水道工事現場の見学会	34.0%	340
ク	下水道管の中の見学	34.3%	343
ケ	デザインマンホールふたを巡るツアー	28.7%	287
コ	下水道に関するブースなどが出展された催し物・イベント	20.0%	200
その他		2.4%	24



その他(抜粋)

- ・下水道管工事に密着。
- ・マンホールに入ってみる。(でも、実際にほんとはんとは入れるとなっても、こわくて入れないです)

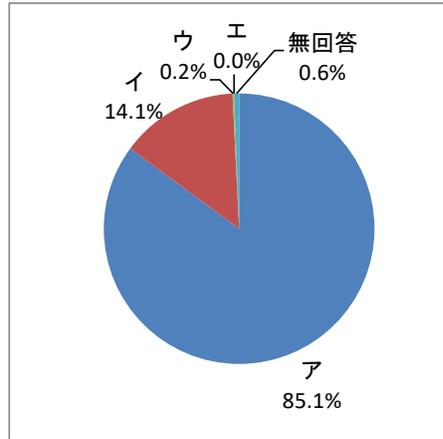
生活していれば誰もが関わりがあるのに、さほど意識をせずに使えて当たり前の設備と認識されていると思います。この意識に変化をつけるなら、機能的に素晴らしいところ半分、もう半分は使えなくなった時の生活を実感できるような内容の広報が必要だと思います。存在が当たり前だと、できないことが不満になります。無くなったら困る施設と思えば、ありがたい存在として大切にしたい協力もすると思います。

小さな頃から環境に触れて生活に水源が大切だという事を教えてほしい。幼稚園や小学校などに絵本で知らせるとか。横浜市だけでもいいから下水道の工事で、こんなに水が綺麗になっている過程をイラストでわかりやすく。大人も知らないことがたくさんあるので、このアンケートで初めて知った内容がたくさんあったので。もっと知るべきだと思う。

Q15 下水道に対するイメージについてお聞きします。
 今回のアンケートにおいて、横浜市の下水道事業の様々な役割や取組についてお聞きしてきました。あなたは「下水道」に対してどのような印象をお持ちですか。最も近いものを1つ選んでください。
 (単一選択)

n = 999

ア	重要なインフラであり、興味がある	85.1%	850
イ	重要なインフラではあるが、あまり興味は感じない	14.1%	141
ウ	あまり重要なインフラではない	0.2%	2
エ	特に何も感じない	0.0%	0
無回答		0.6%	6
		100.0%	999



Q16 下水道の広報や本市の下水道事業に関するご感想やご意見などございましたらお聞かせください。
 (自由意見)

(抜粋)

地震などの災害時における下水処理対策の状況と市民が協力・注意すべき事柄を提供してほしい。
横浜市の下水道事業の技術は世界に誇れるものだと思います。近年では能登大震災での復旧に大きく貢献されたことは横浜市民として大変誇らしく頼もしく感じました。私たちの暮らしに無くてはならない縁の下の力持ち。本当に大切な事業だと思います。
下水道広報を読みますが、もっと簡潔な文章にならないでしょうか？専門用語が多いと感じてしまうのは、ちよびり誤解もありますかしら？
下水道が発展したおかげで汲み取りトイレから水洗トイレに変わり、衛生面でとてもよくなったのを見ている世代。これからも保守点検を頑張ってほしい。
他都市での老朽化による事故は他人事と思えません。横浜市は大丈夫なのかと心配しています。財政面、将来に向けた更新計画など説明していただきたいです。
たまには下を向き、横浜らしいマンホールを探してみます。
「2030年や2050年に向けて、温室効果ガス削減の目標を立てていること」と「地球温暖化を防ぐために、下水処理の過程で出る資源を使って電気をつくったり、使用するエネルギーを削減すること」がなぜ下水道と関係するのが不明。関係ないとおもいます。関係があったとしても無理やりアンケートに載せたような気がします。このような内容は下水道のアンケートには必要ないです。
夏休みに子供と一緒に下水道施設の見学会に参加したことがあります。そうしたことをするだけで随分と考え方などに変化がありました。身近に感じるのが一番だと思いました。むずかしい事を話す事よりも実際の場所(していること)を見る方がいいと思いました。地味ではありますが、下水道は無くてはならない大切なことです。
日常では「水はひねれば出てくる、使用したら流せば済む」のが当たり前と思い、ついつい無意識になってしまいますが、今回のアンケートで今一度その考えを改めなくてはと気付かされ、これを機会に興味を持つとうと感じました。
他都市で起きた道路の陥没での下水道管の事故がショックで印象に残っています。下水道だけでなく、道路のこと、災害のこと、安心して生活できるように関係部署で連携を取って市民に周知して行ってほしいです。